

## 第 1 章 総 則

### (適用範囲)

第 1 条 本作業は、委託契約書並びに青森県が定める最新の測量業務共通仕様書、地質・土質調査共通仕様書、農村整備設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）によるほか、この特記仕様書に基づき実施するものとする。

### (作業目的)

第 2 条 この業務は、間木地区農地整備事業（通作条件整備）一般農道整備・保全対策型計画樹立のための調査計画を行うものである。

### (業務場所)

第 3 条 この業務における業務場所位置は、上北郡おいらせ町 間木 外 地内で、別添位置図に示すとおりである。

### (作業概要)

第 4 条 この業務における作業概要は、次のとおりである。

項 目	内 容
地質調査業務	1 式
簡易診断業務	1 式
調査計画業務	1 式

### (一般事項)

第 5 条 委託契約書と共通仕様書に記載されている以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業の順序・方法等は、調査職員と緊密な連絡をとり、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する管理技術者は、対象作業に十分な経験を有したものでなければならない。
3. 作業の内容に著しい変更があった場合は、甲と乙が協議の上、契約内容を変更することとする。

## 第 2 章 作 業 条 件

### (作業基本条件)

第 6 条 本作業における基本条件は、次のとおりである。

項 目	内 容
地質調査業務	全体事業費算出のため、室内CBR試験を行う。
簡易診断業務	舗装計画に必要な簡易な路面診断及び交通量診断を行う。
調査計画業務	●基本方針並びに基本計画図を作成する (保全対策基本方針の作成) ●事業計画書・全体計画図を作成する (保全対策事業計画の作成) ●費用対効果を算定し、事業審査の参考資料とする (経済効果の算定)

(参考図書)

第7条 本作業の参考にする図書は、共通仕様書第2－1条によるほか、次のとおりである。

名 称	著作・著者・発行所
○土地改良事業計画設計基準 計画「農道」 基準書・技術書	○農林水産省農村振興局整備部設計課監修 社団法人農業土木学会発行
○土地改良事業計画設計基準 設計「農道」 基準書・技術書	○農林水産省農村振興局整備部設計課監修 社団法人農業土木学会発行
舗装工事設計の手引き	○青森県県土整備部

(貸与資料)

第8条 貸与資料は、次のとおりである。

貸 与 資 料 名	部 数	備 考
該当なし		

(参考図書及び貸与資料の取扱)

第9条 前2条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料等の取扱は次のとおりである。

1. 測量業務及び地質調査業務

- 1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で、相互に矛盾のある場合や解釈に疑義が生じた場合は、調査職員と協議する。
- 2) 参考図書は作業時点の最新版を用い、作業中に改訂された場合には、調査職員と協議する。

2. 計画設計業務

- 1) 設計の基本事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準」を優先して適用する。手法等が並記されていて選択する必要がある場合や、他の基準を適用する場合は、調査職員の指示を受けるものとする。
- 2) 設計図面の作成、また数量計算書、工事費積算にあたっては、調査職員の指示によるものとする。
- 3) 参考図書及び貸与資料の記載事項で、相互に矛盾のある場合や解釈に疑義が生じた場合は、調査職員と協議する。
- 4) 参考図書は作業時点の最新版を用い、作業中に改訂された場合には、調査職員と協議する。

### 第 3 章 作 業 内 容

#### (作業項目及び数量)

第 1 0 条 本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

項 目	内 容	数 量	備 考
地質調査業務	室内CBR試験（現状土）	N=4箇所	
簡易診断業務	簡易な路面診断、簡易な交通量調査を行い、現状を把握する。	N=1式 L=4, 115m	
調査計画業務	●農地面積、受益戸数、作付面積等を調査し、基本方針並びに基本計画図を作成する。 ●路面改良の計画設計を行い、事業費を算定するとともに、事業計画書、全体計画図を作成する。 ●本事業の総費用総便益費を算定する。	N=1式 L=4, 115m	

#### (作業の留意点)

第 1 1 条 作業上特に留意する点は、次のとおりである。

項 目	内 容
全 般	本委託により作成される資料は、事業樹立の審査を受けるために必要なものであり、趣旨を理解し内容を整理すること。

## 第 4 章 打 合 せ

### (打合せ)

第 1 2 条 共通仕様書第 1－9 条の打合せ時期及び回数については、次のとおりとする。

回	作 業 段 階	備 考
1	作業着手前	必要に応じて随時行うこと。
2	中間打合せ	
3	最終打合せ	
その他		

## 第 5 章 成 果 品

### (成果品及び提出部数)

第 1 3 条 提出すべき成果品及び提出部数は、次のとおりとする。

成 果 品 名	サイズ	部 数	適 用
報告書	A-4	3部	参考資料等を含む
電子データ原稿	CD-R	1部	成果品をデータ化して提出する。

### (成果品の装丁等)

第 1 4 条 成果品の装丁等は、次のとおりとする。

1. 報告書は、長期の使用に耐え得る通常の装丁を行うこと。
2. 提出先は、上北郡おいらせ町上明堂60-6

おいらせ町農林水産課 とする。

## 第 6 章 そ の 他

### (その他)

第 1 5 条 その他作業において遵守すべき事項は、次のとおりである。

項 目	内 容
	作業完了して後は、速やかに成果品を提出し検査を受けること。 また検査の結果、訂正を指示された場合は、速やかに処理し再提出すること。